radio Camnetに続くマガジン版

雲心月性

大槻ワールドへようこそ

Camnet マガジンをお楽しみの皆様。マガジン版「雲心月性」です。いかがお過ごしですか？

大槻は川崎医科大学の中の川崎医学会の運営委員長で‘(2021 年 3 月で任期を終えましたが）デジタルサイネージに機関誌への投稿を促すスライドを月の前半 2 枚、後半 2 枚で流しています。Ms. Keiko C の描いたイラスト、Ms. Saori T の絵手紙と僕の写真です。2020 年の 3 月と 4 月のスライドを紹介します。

春も近い夜明け前には、平穏な日々を祈るのみです。

俯きがちの視線を、少しだけ上げてみたい。疫病が蔓延していても、そこに、どこかに、希望は見える筈。

そして、今年も春はやってきます。桜も咲いて、そして、水温む春なのです。

土筆も、少し顔を出し始めました。お地蔵様も喜んでいらっしゃいます。

そして桜は今年も美しく、儚げに咲いています。

そして、お地蔵様は、まずまず笑顔になっています。皆も、スマイル、スマイル！

これは、桐の花。少し上品な紫色で、心が和みますね。そう、実はこの写真、造山古墳で見かけたのです。

それでもあなたはもの思いに耽りますか？

少し目を空けてみましょう、何か、変わり出している筈です。

♪オリジナルCD
プレゼントします！
詳しくは
プレゼントコーナーで

さて、オリジナル曲の歌詞紹介。

「春の訪れに」は、大槻の作詞作曲です。サブスクなどではリリースしていませんが……。

美しい　泣き顔は　僕の胸に残るよ
懐かしい　恋の日の　名残りのように
つぶやいた　サヨナラに　白い君の頬には
陽に光る　露に似た　涙がつたう

街では　春の訪れに
しあわせの　歌が流れ
心に　愛を忍ばせる
ため息まじりの　ぼくに
　やさしく　やさしく　響いているのさ

「しあわせ」と　囁いた　君の声によく似た
木蓮の　花の香の　甘さに震え
暖かい　昼下がり　頬を撫でる風にも
憂いある　歌声を　覚える僕さ

街では　春の訪れに
笑い合う　人の波が
心に　愛を忍ばせる
ため息まじりの　ぼくを
　やさしく　やさしく　包んでいるのさ

--*-*-*-*-*-*-*-*-*

2 か月分のコラムですので、時事的な話題は避けてしまいますが、COVID-19、新しい生活様式の中で、少しずつ生活が彩られて行っていれば、と祈念しています。

プロフィール

大槻　剛巳
（おおつき たけみ）

川崎医科大学衛生学教授
0歳：京都府福知山市にて生誕
14歳：京都府中学校陸上競技大会にて100mハードル2位
14歳：KBS近畿放送AMラジオでリスナーの詩として採用
15歳：倉敷市に転居
15＆18歳：NHKあなたのメロディー出演
18歳：YAMAHAポプコン全国大会（譜面の部）出場
20歳：YAMAHA神戸との連携で楽曲依頼あり
24歳：川崎医科大学卒業
以降：川崎医科大学血液内科～衛生学にて診療・研究・教育に従事
1992-1996年：米国留学（医学研究）
1996年：岡山県文学選奨現代詩部門選外秀作として「岡山の文学」に掲載
2009年：Camnet CH-F（10-19）パーソナリティ担当
現在に至る